

2023年3月期第2四半期決算説明会 主な質疑応答内容

2022年11月18日（金）に開催致しました、弊社「2023年3月期第2四半期決算説明会」の中で行われた、主な質疑応答内容について以下に記します。

なお、記載内容につきましては、質疑応答内容をご理解頂きやすい様、表現の変更や加筆・修正を行っております。

問1. 「原材料市況高騰」「その他の材料費増加」は、具体的に何の材料を指しているのか？

答1. 「原材料市況高騰」の主なものは、鉄・銅・アルミ・樹脂となる。

「その他の材料費増加」は、主に半導体等の電子部品の値上げ影響を含んでいる。

問2. 通期計画における完成車の台数前提はOEMの発表台数と同様か？

また、原材料高騰分の回収については、どのレベルで反映させているのか？

答2. OEM発表の台数は「販売」台数であるため、それより類推した台数としている。

下期の原材料高騰分の回収について、半分はスライド契約に基づく回収で、この10月に売価改定が行われている。また残りの半分については、お客さまとの交渉による回収と値引き抑制での達成見込みとなる。

問3. P.19のポートフォリオの変化に伴う利益率の変化は？

また、減少していく商品群はどう着地させるのか？増やす商品群はどうやっていくのか？

答3. 今後の商品変化の中で、モーター単体での販売から、コントローラーやドライバー、機構部分などが付加されるため、それに伴っての利益確保をしっかりとしていきたい。

成長領域のいくつかの商品については既に開発に着手しており、また並行してお客さまへの営業活動を展開している。

減っていく商品群については、供給責任を果たしていく中で長用化も図り、収益を確保しながら着地させていく。

問4. 2輪ビジネスの収益性と来期の収益拡大見通しについて、特にインドとアセアンの動きについて教えて欲しい。

答4. 2輪ビジネスは、インド・インドネシアのマーケットが戻ってきており堅調に推移している。

また、コロナ禍で2輪車が見直されて来ており、これも追い風のひとつの要因と考えている。

問5. 2輪と4輪のポートフォリオ見直しの有無について教えて欲しい。

答5. この中期計画のひとつの方針として「4輪から2輪へのシフト」を掲げており、現在それを実行中である。また、4輪では今期「電動化ソリューション事業」を設置する事で成長領域を明確化した。

問6. 2輪EVの部品について、顧客からの引合い状況を教えて欲しい。

答6. 具体的な回答は差し控えるが、お客さまとのコミュニケーションはしっかりと行わせて頂いている。